WEEFINE

WF Solar Flare MAX 10000

Fisheye

目次

●安全にお使いいただくために ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・3
●仕様 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・4
●各部名称 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・5
●LCDパネル表示 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・5
<使用方法>
●ダイレクトベースの取り付け ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・6
●YSベースの取り付け ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・6
●バッテリー装填手順 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・7
●充電方法 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・8
●操作方法 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・9
●高温時保護モード ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・10
●セイフティモード ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・10
<メンテナンス>
●Oリングの確認 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・11
●ダイビング前のチェック ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・11
●ご使用後のお手入れと保管方法 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・12
●オーバーホールのおすすめ ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・12
●保証規定 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・13
●保証書 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・16

取扱説明書について
・本書の内容は、予告なく変更することがあります。
・本書の内容について、誤り、記載漏れ、印刷ミス、不明な点がありましたら、弊社もしくはお近くの販売店までご連絡をお願いいたします。
・本説明書の一部もしくは全ての転載、コピーなどは個人でご使用になるもの以外一切認められません。

はじめに

安全にお使いいただくために

●この説明書を必ずお読みの上、正しくお使いください。
●誤った使い方は故障や水没の原因となり、修理不能になる場合があります。
●ご使用の際にはこの説明書に従い、必ず点検・テストを行ってください。
●分解、改造、修理に伴う事故などに関し、当社では一切責任を負いかねますので、ご了承ください。また、使用時の人身、物損事故に関しての保証は致しかねます。

ここに表示した注意事項は、状況によっては重大な結果に結びつくおそれがあります。いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

危険	取扱いを誤った場合に、死亡または重傷を負う差し迫った危険の発生が想定される内容。
警告	取扱いを誤った場合に、死亡または重傷を負う可能性が想定される内容。
注意	取扱いを誤った場合に、傷害を負う可能性及び物的損害のみの発生が想定される内容。

危険

●バッテリー接点部同士を、金属板や針金などで接続しないでください。感電や発火の原因になります。
●本製品を改造・分解しないでください。発熱や発火の原因になります。
●ナイトダイビングや洞窟など暗い水中でのご使用時には、必ず予備のライトをお持ちください。バッテリー切れなど、万一何らかのトラブルが起きた際、パニックにつながる原因になります。

警告

●本製品を乳児、幼児、小さなお子様など、本製品の取扱いの注意事項などについて理解できない人の手の届く場所に保管しないでください。
●ライト本体にバッテリーを入れたまま保管しないでください。ガスや液の発生によって、人体に影響を及ぼすおそれがあります。
●本製品をご自分の目や他の人の目に向けて照射しないでください。失明や視力障害など重大な障害を引き起こすおそれがあります。
●本製品を燃えやすいものの近くで点灯させないでください。火災の原因となるおそれがあります。
●必ず専用のバッテリーとチャージャーをご使用ください。他の製品を使用すると本製品を破損させたり、ガスが発生して危険な状態になる場合があります。
●濡れた手でバッテリーやチャージャーを触ると感電する危険性があります。バッテリーは十分に乾いた手で取り扱ってください。
●ライト本体にバッテリーを入れたままの輸送や保管はおやめください。誤点灯による火災の原因となるおそれがあります。

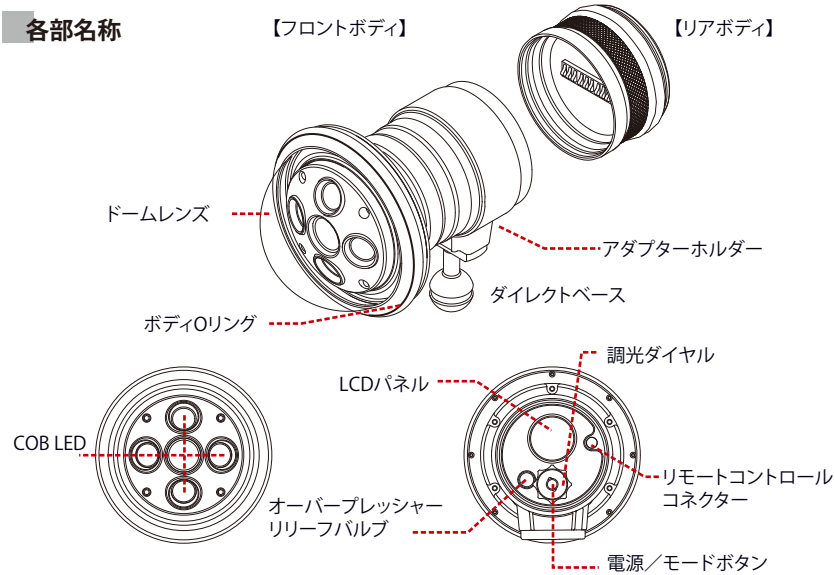
注意

●本製品は100mの水深まで耐えられるように設計されています。それ以上深い場所で使用されたり、また、浅い深度においても衝撃や圧迫を加えますと、破損したり浸水したりするおそれがあります。
●浸水や故障などの事故を防ぐためにこの説明書をよくお読みになり、ご使用前後に必ず点検とメンテナンスを実施してください。
●気温が異常に高くなる、あるいは低くなる場所、極端に大きな温度変化がある場所などに本製品を置いたり、保管したりしないでください。部品が劣化し、破損したり防水機能を損なったりするおそれがあります。
●砂や塵、ほこりなどが多い場所でライト本体を開閉すると、防水部分に異物が付着し、防水性能が損なわれることがあります。
●飛行機で移動する場合は、本体のOリングを外しておくことをおすすめします。気圧の影響で取り外しができなくなったり、またその状態で無理に取り外そうとすることで製品を破損してしまうおそれがあります。
●本製品より異音や異臭がする場合や煙が出たりする場合は、バッテリーを取り外し、お求めになった販売店にて修理をご依頼ください。
●万一、浸水が発生した場合、速やかに電源を切り、バッテリーを取り外してください。濡れているバッテリーに直接触れると感電の危険性がありますので取り扱いには十分ご注意ください。
●アルコールやベンジン、シンナーなどの有機系溶剤は、変形などの原因になりますので絶対に使用しないでください。
●万一、浸水が発生した場合、すぐに使用を中止してください。また、浸水している場合、本製品内部の圧力が高くなっていることがあります。ライト本体を開ける際、水が噴き出したり、ライト本体が跳ねたりすることがありますので、十分ご注意ください。

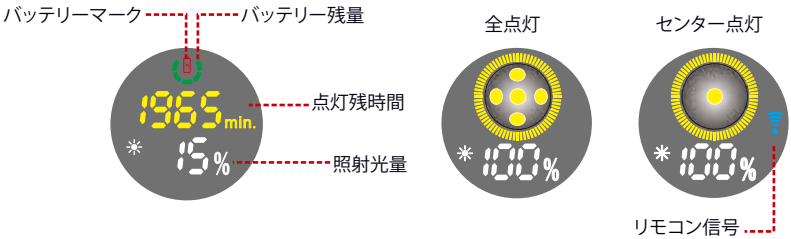
仕様

最大光量	10,000ルーメン
連続点灯時間	連続点灯時間 約50分(最大光量時) + 約10分(セイフティモード)
光量調節	調光ダイヤルによる無段階調光(0-100%の1%刻み)
照射角	約160度(全点灯) / 約120度(センター点灯)
色温度	4,600K(全点灯) / 4,200K(センター点灯)
陸上点灯可否	不可
充電時間	最大約4時間
バッテリー	リチウムイオン 6,800mAh
耐圧水深	100m
材質	耐腐食アルミ合金(表面アルマイト処理)、アクリル樹脂
サイズ	φ115 x 195mm
重量	1,720g (陸上) / 850g (水中)
付属品	リチウムイオンバッテリー、チャージャー、ドームレンズカバー、キャリングケース、ダイレクトベース(装着済み)、YSベース、ボディOリングセット(パープル・　レッド)、スペアOリング、Oリングリムーバー、Oリンググリス、バッテリー 保護キャップx2、六角レンチ、レインカバー

各部名称



LCDパネル表示



- ■ バッテリー残量　5段階のバーで表示します。
- ■ バッテリーマーク　セーフティモード時に点滅します。
- ■ 点灯残時間　セーフティモード時は赤色に変わります。
- ■ 照射光量　現在の照射光量を1%刻みで表示します。

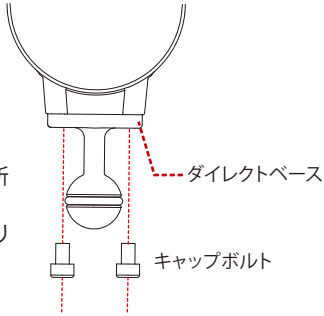
注意　使用中のLCDに表示される点灯残時間は、バッテリー残量と照射光量により算出される理論値です。この点灯残時間表示は、バッテリーのコンディションや水温などの使用環境により、実際の点灯時間と誤差が生じる場合がありますのでご注意ください。

使用方法

ダイレクトベースの取り付け

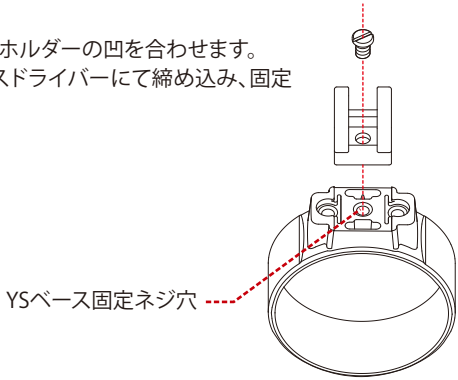
※製品出荷時は取り付けられた状態になっています。

1. ダイレクトベースをアダプターホルダーの2カ所のネジ穴に合わせます。
2. 付属の六角レンチでキャップボルトx2を時計回りに締め込み固定します。



YSベースの取り付け

1. YSベースの凸とアダプターホルダーの凹を合わせます。
2. 付属の固定ネジをマイナスドライバーにて締め込み、固定します。



ドームレンズの保護

本製品は発光部に大型のドームレンズを採用しています。傷などのダメージから保護するためにも、使用時以外は付属のネオプレーン製ドームレンズカバーの装着をおすすめします。

注意

●レンズカバーを装着したままの点灯はおやめください。発熱による故障や事故の原因となります。
●ドームレンズはアクリル樹脂製です。傷を与えると、その度合いによっては防水性能が低下します。目立った傷やクラックを見つけた場合は、本製品の使用を控え、弊社カスタマーサービスまでお問い合わせください。

バッテリー装填手順

1. フロントボディをしっかりと持ち、リアボディを反時計回りに回し取り外します。
2. バッテリーの保護キャップを取り外します。
3. バッテリーをフロントボディへ装填します。バッテリーはどちらの向きでも装填でき、点灯可能です。(図1)
4. フロントボディをしっかりと持ち、リアボディを時計回りに回し取り付けます。(図2)

図 1

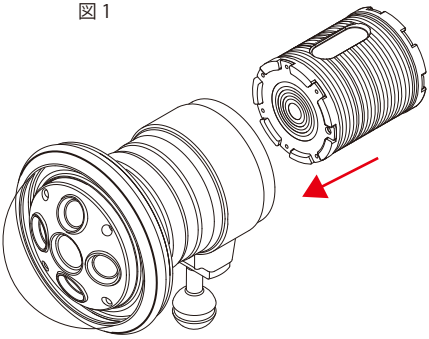
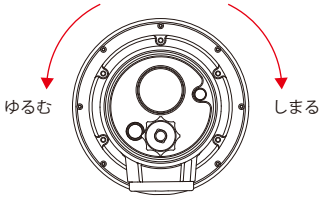


図 2



警告

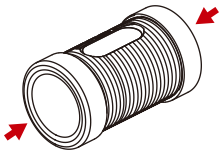
●濡れた手や濡れた環境での作業は、感電や破損のおそれがありますので、絶対に行わないでください。

●リアボディを閉める前には、必ずOリングやOリング溝、Oリング当たり面にゴミや砂などが付着していないことを確認し、Oリングのグリスアップを行ってください。

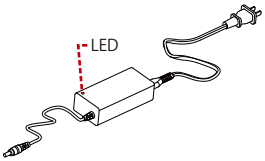
●バッテリーを取り出す際は、落下にご注意ください。バッテリーの破損だけでなく、ケガなどにつながるおそれがあります。

注意

●バッテリーを保管する際は、漏電やショートを防ぐため、必ず付属のバッテリー保護キャップを取り付けておいてください。



充電方法



1. リアボディを反時計回りに回してバッテリーを取り外します。
2. チャージャーのACプラグを電源コンセントに差し込みます。
3. この時、チャージャーのLEDが緑色に点灯することを確認してください。
4. チャージャーのコネクターをバッテリーに差し込みます。
5. チャージャーのLED点灯が赤色に切り替わったことを確認してください。
6. 充電が完了すると、チャージャーのLED点灯が緑色に切り替わります。(充電時間は最大4時間)
7. チャージャーのコネクターをバッテリーから取り外します。
8. チャージャーのACプラグを電源コンセントから取り外します。

NOTE

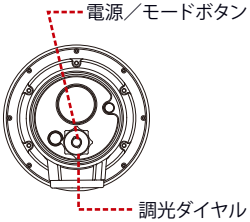
●バッテリーが満充電の場合、チャージャーに接続してもLED点灯は緑色のままです。
●万が一のショート防止のため、充電の際も片側には保護キャップの使用をおすすめします。

危険
●充電中はバッテリーやチャージャーが熱を持つことがありますので、絶対に紙や絨毯など燃えやすい物の上で充電しないでください。
●ケーブルを束ねた状態で充電すると発熱で火災の原因になるおそれがありますので絶対におやめください。

警告
●濡れた手、濡れた環境での充電は感電するおそれがありますので絶対におやめください。
●水没した、あるいは水没しているおそれのあるバッテリーを絶対に充電しないでください。

注意
●チャージャーはマルチボルト(100~240V)対応になっていますが、自家発電のリゾートやクルーズ船などでご使用の場合は、電圧が非常に不安定なため、異常な高電圧によりチャージャーを破損させてしまうおそれがあります。安全回路内蔵の変圧器を併用されることをおすすめします。
●30度以上の高温になる所や直射日光の当たる所に放置しないでください。
●充電中、振動や衝撃、落下などで充電コネクターからプラグがはずれたりしないよう安定した場所で充電してください。また、充電中に万一プラグがはずれてしまった場合、バッテリーが熱を持った状態で再充電せず、常温に戻るのを待って再度充電してください。温度センサーが働いて、フル充電できないことがあります。

操作方法

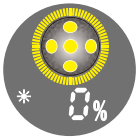


点灯

1.電源/モードボタンを長押しすると、LCDパネルに"Fisheye"のロゴが表示され、スタンバイモードとなります。
2. スタンバイモードの状態で、電源/モードボタンを続けて2度早押しすると点灯します。点灯直後のLCDパネルには設定中の点灯モードが表示され、その約2秒後に通常点灯表示に自動的に切り替わります。

スタンバイモード

点灯直後



約2秒後

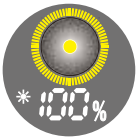
NOTE 本製品は、電源OFF時の光量設定とモード設定を記憶し、次の電源ON時に同じ光量で点灯するデフォルト機能を搭載しています。たとえば光量50%/全点灯モードの状態で消灯すると、次に電源を入れた際も同じ50%/全点灯で再点灯します。

点灯モードの切り替え

点灯状態で電源/モードボタンを長押しすると、LCDパネルに点灯モードが表示されます。モードが切り替わったことを確認して、ボタンを離します。

全点灯

センター点灯



NOTE 本製品は全点灯時とセンター点灯時で色温度と演色性が異なるため、撮影シーンに合わせて使い分けができます。

点灯状態	色温度	演色
全点灯	4,600K	Ra86
センター点灯	4,200K	Ra95

消灯

電源/モードボタンを長押しすると、LCDパネルに点灯モードが表示されます。さらに長押しすると、スタンバイモードに切り替わり、電源OFFとなります。

光量調節

ダイヤル調光

調光ダイヤルを時計回りに回すと、1%刻みで100%まで光量が増加します。調光ダイヤルを反時計回りに回すと、1%刻みで光量が0%まで減少します。操作ごとに、LCDパネルには点灯モードが表示され、約2秒後に通常点灯表示に切り替わります。

スキップ調光

電源/モードボタンを押すごとに、25%刻みで光量が切り替わります。

[100% → 75% → 50% → 25% → 100%、以降繰り返し]

操作ごとに、LCDパネルには点灯モードが表示され、約2秒後に通常点灯表示に切り替わります。

注意　0%光量の状態は、「電源OFF」ではありません。そのまま放置すると電源を消費してしまうばかりではなく、誤点灯のおそれがあります。

高温時保護モード

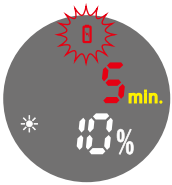
使用中にライト本体が55°C以上になると、自動的に保護モードへ移行し、光量を10%まで落とします。LCDパネルには高温アラートが表示されます。高温時保護モードに切り替わった場合は、電源をOFFにし、ライト本体を冷却することをおすすめします。ライト本体は高温になっていますので、素手で触らないなど取り扱いには十分ご注意ください。温度が55°C未満まで下がると、再び通常モードへ復帰します。

高温時保護モード

セーフティモード

バッテリー残量が残り10%以下になると、自動的に光量を最大の10%まで落とし、LEDパネルのバッテリーマークが点滅します。この状態で約10分間点灯後、自動的に電源がOFFになります。

セーフティモード



メンテナンス

Oリングの確認

本製品はOリングを使用して防水しています。お客様ご自身でメンテナンスや交換が可能なOリングは1ヶ所(2本)です。長期間ご使用にならないときは、Oリングに付属のシリコングリスを薄く塗ってから保管してください。また、Oリングは1年毎に交換されることをおすすめします。

注意

Oリングの取扱いについて、下記の点に注意してください。

- ●本体ケースのOリングを外す際は、絶対に金属製の鋭利なもの(はさみの先端、釘、ナイフなど)を使わず、付属のOリングリムーバーをご使用ください。
- ●外したOリングを紛失しないようご注意ください。
- ●Oリングの摩擦や劣化を防ぐために、外したOリングの表面に付属のOリンググリスを薄く塗布(グリスアップ)します。その際、砂や小さなゴミ、髪の毛などが付着していないか必ず確認してください。もし、砂やゴミなどが付着していた場合は、水で洗い流してからグリスを塗ってください。また、Oリンググリスが多すぎると、かえってゴミやホコリが付きやすくなり、浸水の原因となることがありますのでご注意ください。
- ●Oリング面に小さな傷やひび割れなどがある場合は、絶対に使用せず、すぐにスペアのOリングに交換してください。
- ●Oリング溝、またはOリングが当たる防水面にも砂や小さなゴミ、髪の毛などが付着していないか必ず確認してください。綿棒などを利用すると、きれいに清掃できます。また、傷やひびなどがないかもしっかり確認してください。
- ●上記の確認ができましたら、再び溝にOリングを装着してください。その際、Oリングがねじれたり、はみだしたりしないようにご注意ください。
- ●OリングやOリング溝のチェック、グリスアップなどは、ボディ開閉時に毎回行ってください。

ダイビング前のチェック

本製品をご使用になる前に、浸水チェックを行うことをおすすめいたします。ご使用前に、本製品を水を張った洗い桶や洗面器などに、水平を保ったまま浸してください。3秒で一度、30秒で一度、3分間で一度、水から取り出してリアボディを開け、本体内部に浸水がないことをご確認ください。

ご使用後のお手入れと保管方法

1. 使用後はボディを開ける前におよそ10~20分程度、真水に浸けておいてください。また真水の中で、電源/モードボタン、調光ダイヤルを数回動かして、周囲についた塩分を洗い流してください。

NOTE 別売の『FIXメンテナンスキット』に含まれる、塩害防止剤『ソルトアウェイ』をご使用いただくと一層効果的です。

⚠ 注意 海水でご使用後、そのまま放置すると細かいすき間などに塩分が残り、乾燥するとその塩分が結晶となり水に溶けなくなってしまいます。結晶化した塩分は時にOリングを押し上げ、浸水の原因になりますので、必ず真水に浸けて塩分を洗い流してください。

2. 真水から上げたら、弱い流水で洗ってください。強い水流を一定方向から当てると浸水の原因となりますので、絶対におやめください。
3. 水洗い後は、乾いた柔らかい布などで水気をよく拭き取ってください。炎天下での直射日光による乾燥や、ドライヤーやストーブによる乾燥は、故障や変形、破損の原因となりますので絶対におやめください。
4. ご使用後はOリングにシリコングリスを薄く塗ってから保管してください。Oリングは1年毎に交換されることをおすすめします。
5. 長時間ご使用にならない場合は、高温多湿な場所や直射日光の当たる場所、極端に気温が下がる場所をさけて保管してください。
6. アルコールやシンナー、ベンジンなどの有機系溶剤や中性洗剤は変形や破損の原因となりますので絶対に使用しないでください。

もしも浸水したときは

浸水が発生した場合は、速やかに本製品の使用を中止し、ライト内部およびバッテリーに付着した水分を取り除いてください。そしてバッテリーはライト本体には戻さず別途保管してください。もし内部に水分が残っていると感電や基板破損の危険性がありますので、浸水後は絶対にご使用にならず、弊社カスタマーサービス(Tel:03-5988-0191)まで点検に出してください。

オーバーホールのおすすめ

本製品のご使用回数に関わらず、1年から2年に一度の定期的なオーバーホールをおすすめいたします。製品内部に、お客様には交換いただけない防水Oリングを使用しております。これらを定期的に交換・メンテナンスすることで、事故を防止し、製品寿命を延ばすことになりますので、一定期間が経過いたしましたら、弊社カスタマーサービスまで、オーバーホールをご依頼ください。

保証規定

当社は、取扱説明書の注意事項にしたがったお取り扱いにより本製品が万一故障した場合、お買い上げ日から満一年間無料修理を承ります。ただし、本ライトに使用しているバルブ寿命に関しましては、ご使用環境やご使用頻度により変化するため、対象外となります。また、破損、浸水等によりご使用の他の機材等に損害が生じた場合、いかなる理由でも、本製品以外の機材に対する補償はございません。ご使用になる機材等には「保険」をおかけいただくなど、ご使用者ご自身での対処をお願いいたします。また、本製品の故障に起因する付随的損害(ダイビングや撮影に要した旅行費用等の諸費用、及び撮影により得られる利益の喪失など)については保証いたしかねます。また、保証期間の内外によらず修理時の運賃、諸掛かりはお客様においてご負担をお願いいたします。

保証期間内でも次のような場合には有料修理になります。
1. 使用上の誤り (取扱説明書の取扱上の注意事項等以外の誤操作等) により生じた故障。
2. 弊社以外で行われた修理、改造、分解等による故障。
3. お買い上げ後の輸送、落下、衝撃等による故障及び損傷。
4. 火災・地震・水害・落雷その他の天災地変、公害による故障及び損傷。
5. 保管上の不備(高温多湿の場所、有害薬品のある場所での保管)や手入れの不備等による故障。
6. 砂・泥・水かぶり等が原因で発生した故障。
7. 保証書のご提示がない場合、または保証書の記載事項を訂正された場合。
8. 保証書にご購入年月日や必要事項の記載がない場合。
都合、製品の改良等により仕様・デザイン・価格等、予告なしに変更をすることがあります。

Memo

Memo

保証書

お名前
Customer Name

ご住所
Address

電話番号
Tel / Email

保証期間 Warranty Period	ご購入日より一年間 One year from purchase date
購入日 Purchase Date	
品名 Product Name	WEEFINE LIGHT WF Solar Flare MAX 10000
製造番号 Serial Number	
販売店名 Dealer Name	＊必ず販売店名印を押して下さい。

「販売店名印」「購入日」の記入をご確認ください。
記入無き場合は無効となりますので、直ちにお買い上げ店までお申し出ください。
本書は再発行致しませんので、紛失しないよう大切に保存してください。
Dealer: Fill your company name & contact information, purchase date, model name and serial number.
Customer: Copy and Send the above information when returning the housing for services.
Not valid unless all information provided above. Contact your dealer immediately if any information is missing.

株式会社フィッシュアイ 〒171-0052 東京都豊島区南長崎5-29-7 TEL:03-5996-5637 FAX:03-5996-7202
www.fisheye-jp.com **E-mail:info@fisheye-jp.com**